

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1) 基本目標

- 心豊かで思いやりのある生徒の育成（情操）
- 主体的に学び考え深い生徒の育成（創造）
- からだを鍛えたくましい生徒の育成（健康）

(2) 具体目標

目指す生徒像・・・思いやりのある生徒，主体的に学ぶ生徒，心身を鍛える生徒
目指す教師像・・・実践力のある教師，磨き合い高め合う教師，愛情豊かで寄り添う教師
目指す学校像・・・安心・安全な学校，学び合いともに伸びる学校，地域とともに歩む学校

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒のよりよい成長のためには，教職員がプラス思考で組織的に行動すること，及び教職員と保護者・地域住民とが連携を密にすることが重要である。そこで，地域と一体になった教育活動を展開しながら社会性や郷土愛を育むとともに，生徒及び教職員が，互いに学び合い高め合う集団を形成し，生徒が夢や希望に向かっていきいきと活動できる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 確かな学力の育成を図り，生徒が自信や志をもち，主体的にいきいきと学べる学校づくりに努める。
- (2) 豊かな心とたくましい体の育成を目指し，基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成，人を思いやる心と人権を尊重する心の育成，及び健康で安全な学校生活の実現に努める。
- (3) 信頼される学校・学び合いともに伸びる学校・地域とともに歩む学校を目指し，家庭や地域との連携・協力を深めながら，創意ある教育活動に努める。
- (4) 教職員が互いに学び，高め合う協働的な同僚性の育成と専門的資質・能力の向上を図るとともに，業務改善の推進により勤務意欲の向上に努める。
- (5) ○地域学校園としての「目指す生徒像」の共有を図り，小・中が連携して地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

〔雀宮地域学校園教育ビジョン〕

一人一人が自らの良さを自覚し，主体的に学ぶ児童生徒の育成
～ いきいきとした活動を通してつながる ～

4 教育課程編成の方針

- (1) 関係法令，栃木県教育振興基本計画 2025ーとちぎ教育ビジョンー，第2次宇都宮市学校教育推進計画，第2次宇都宮市学校教育スタンダードや「令和6年度指導の重点」に基づき，地域の実態や生徒の発達段階，特性を考慮した特色ある教育活動を展開し，公教育の自覚のもとに，全教職員の理解と協力によって，本校の教育目標の実現を期す教育課程とする。
- (2) 「人間尊重の精神」を基盤とし，知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し，各教科・道徳科・特別活動，総合的な学習の時間の相互の関連と調和を図る。
- (3) 学習指導要領に基づいた各教科の目標・指導内容を明確にし，基礎的，基本的な内容の確実な定着と個に応じた適切な学習支援や習熟度別学習等の工夫を図り，個性の伸長と学力向上を目指す教育課程とする。

- (4) 学習指導要領の趣旨に則り、教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りながら教育課程を編成し、すべての学習の基盤となる読解力や問題発見・解決能力及び現代的な諸課題に対応していくための資質・能力の育成を目指す。
- (5) 地域に根ざした豊かな体験活動（地域交流活動，地域貢献活動，社会体験活動）を教育課程に位置付け、地区内小学校及び高校との連携を図った社会性育成のプログラムとする。
- (6) 生徒の体力向上及び心身の健康の保持増進に努め、心と体の健康に関する指導や食育をより充実する教育課程とする。
- (7) 特別支援教育の主旨に基づき、合理的配慮を踏まえて、個に応じた指導体制の整備に努め、学校内外の関係機関やそれらの支援機能を生かした運用を図る。
- (8) 地域学校園内の小中教員の交流を図るための連絡会議等を年間行事予定に位置付ける。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

- 地域の教育力を活用した「いきいきとした学校づくり」と「地域とともに歩む学校づくり」の推進。
 - ・生命尊重や人権尊重を基盤とした知育・徳育・体育のバランスのとれた教育活動を全職員が共通認識し、組織的・計画的に取り組むことで安心・安全な学校づくりを目指す。
 - ・生徒の主体的な活動を促しながら認め励ます指導を充実させ、粘り強くたくましく成長する生徒の育成を図る。
 - ・不登校対策の充実と不登校生徒の学びの保障と自立に向けた対応に努める。
 - ・いじめを生まない指導・支援の充実といじめをしない態度や能力の育成を図る。
 - ・校務のデジタル化や業務改善による効率化や簡略化を進め、教職員が心身ともに健康な状態で職務に取り組めることができるよう教職員管理と組織管理に配慮する。

(2) 学習指導

- 基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現できる生徒の育成
 - ・基礎・基本の確実な定着と、「わかる，できる」を実感させる授業の工夫・実践
 - ・ICTの計画的・効果的な活用による「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善と「主体的に学習に取り組む態度」の育成
 - ・宇都宮モデルを活用し、各場面（はっきり，じっくり，すっきり）における指導の充実と基礎的・基本的な知識及び技能の習得

(3) 生徒指導

- 温かい人間関係のもとで、自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できる生徒の育成
 - ・一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実
 - ・認め合い，励まし合い，助け合う温かみのある集団の形成と、耐性（我慢する，あきらめない，くじけない）を育む指導の充実による，いじめ・不登校対策の充実
 - ・夢や希望に向かって挑戦する，たくましい生徒の育成

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

- 生涯を通じて健康なからだを維持していくための基盤づくり
 - ・食と健康に対する関心を深め，体力の向上を目指す生徒の育成
 - ・健康と食の安全確保のための指導の充実と，体力の向上を目指すための教育活動の推進
 - ・安全教育の充実と危機予測・回避能力の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 生徒は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は, 学習課題を解決するために, 友達と話し合ったり, 必要な情報を集めたりしながら, じっくり考え, 粘り強く学習に取り組んでいる」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答85%以上</p>	<p>○①主体的・対話的で深い学びを実現するために, ねらいの明確化と振り返り活動を充実させるとともに, 生徒がじっくり考え粘り強く学習に取り組む場を計画的に設ける。</p> <p>○②生徒の情報収集・活用能力の育成を図るために, 各教科でグループ学習や生徒同士が対話を通じた情報交換の場を積極的に設ける。</p> <p>③ミニ研究授業を行い, 教員同士で授業を公開し, 生徒の学ぶ意欲をより効果的に高める指導方法を互いに探求し実践する。</p>	B	<p>【達成状況】 肯定的回答は, 生徒 90.2%, 教職員 100%で, とともに数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに, 「宇都宮モデル」の遂行と併せて学びを振り返る時間を確保し, 主体的に学ぶ態度の育成を図る。 ・情報収集・活用能力の育成では, 総合的な学習の時間を中心に, グループ学習や生徒同士が話し合う活動を計画的に配置する。</p>
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A 2 生徒は, 思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は, 誰に対しても, 思いやりの心をもって優しく接している」, (地)「生徒は, 地域住民に, 思いやりの心をもって接している」 ⇒全対象者の肯定的回答各85%以上</p>	<p>○①学級担任は, 互いに認め合える学級の雰囲気をつくり, 思いやりの心を育てる。</p> <p>②道徳の授業を通して道徳の心身の醸成を促す。1年生(7月9番)2年生(2月28番)3年生(2月32番)</p> <p>③思いやりのある行動をとった生徒等の事例を紹介, 称賛することで啓発していく。</p> <p>④地域連携教員を中心に地域ボランティア活動を紹介し, 参加を促す。</p>	B	<p>【達成状況】 肯定的回答は, 生徒 93.8%, 教職員 95.1%, 保護者 91.9%, 地域住民 92.3%で, すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに, 学校生活や地域社会で模範となる生徒の行動の事例について, 担当者が朝会や昼の放送等で紹介し, 他を思いやる行動を促していく。 ・ボランティア活動に参加した生徒の振り返りを発表する機会を効果的に設けていく。</p>
	<p>A 3 生徒は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は, 夢や目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる」 ⇒生徒・教職員・保護者の肯定的回答各80%以上</p>	<p>①学級活動を通して自己の生き方を考えさせるとともに, 目標に向かって日々努力することやあきらめずに粘り強く学習や運動に励み続けることの大切さを指導していく。</p> <p>○②自己実現可能な目標を見出させ, 達成感を味わわせる学校行事を通して, 目標に向かって粘り強く取り組む力を高めさせる。</p> <p>③「学習のあゆみ」を活用した定期テスト後の振り返りにより, 生徒の粘り強い取組を支援する。</p>	B	<p>【達成状況】 肯定的回答は, 生徒 82.6%, 教職員 95.1%, 保護者 80.8%で, すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き, 学校行事の前に目標を立て, 実施後の振り返りを掲示する活動を継続していく。 ・テストの計画表や振り返りを活用し, 粘り強く学習に取り組む大切さを指導する。</p>
1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	<p>A 4 生徒は, 健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は, 健康や安全に気を付けて生活している」, (地)「生徒は, 学校行事や休み時間等において元気に活動したり安全に気を付けて生活したりしている」 ⇒全対象者の肯定的回答各85%以上</p>	<p>○①各教科等の活動全般を通して, 健康や安全についての意識を高める。</p> <p>②生徒会生活安全委員による通学路の危険箇所や危険行為を紹介し, 登下校時のマナーアップを呼びかける。</p> <p>③交通安全教室(11月)や地震や不審者, 竜巻を想定した実践的な避難訓練(5月, 11月)を実施する。</p> <p>④通学路の危険や安全な歩行・自転車の利用など, 交通安全について啓発する。</p>	A	<p>【達成状況】 肯定的回答は, 生徒 91.3%, 教職員 97.6%, 保護者 90.0%, 地域住民 91.7%で, すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに, 生徒会の各委員活動を活性化させる。 ・クラスボールを設置し, 昼休みに校庭で運動できる環境を整え, 運動を促す。 ・本校の健康課題である「目の健康」指導を通じた望ましい生活習慣に関する指導の充実に取り組む。</p>

1-(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	<p>A5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート(生)「私は、自分の良さや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている」、(教)「生徒は、互いの良さを生かしながら、進んで意見を発表したり、協力したりして、集団での課題を解決している」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各80%以上</p>	<p>○①教育活動全般において、進んで意見を発表したり、集団での課題を解決したりする行いをした生徒を称賛することで、自己有用感を育む。</p> <p>②学級活動において係活動に責任をもって取り組ませ、振り返りで、自らの成長を確認させる。</p> <p>③学校行事を通して、生徒が互いの良さを認め合いながら、協力し合うことのできる学級づくりを行う。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒88.5%、教職員100%で、ともに数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き本年度の取組を継続し、連帯感や協働する力の育成に努める。</p> <p style="text-align: center;">B</p>
2-(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	<p>A6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は、英語の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各80%以上</p>	<p>①英語で行うことを基本とした英語の授業を実践する。</p> <p>②インタビューテストなどで生徒が積極的に英語を用いて活動できる時間を増やしていく。</p> <p>③基本的事項を活用した自己表現活動や即興の英会話活動を計画する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員97.6%で数値指標を上回ったが、生徒は77.4%で下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに、あいさつや短い会話を積極的に取りまかせ英語を使ったコミュニケーション能力の伸長を図る。 ・ALTの入る授業で、ALTとの交流がより活発になるための指導の工夫を図る。 ・英語科を中心に、給食の時間や昼休みなど、その他の場面でALTとの交流の機会を企画し、実施する。</p> <p style="text-align: center;">A</p>
	<p>A7 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答各80%以上</p>	<p>①各学年の「宇都宮学」の指導の充実を図り、宇都宮の良いところを捉え考えさせることで、郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもたせる。</p> <p>②社会科においては、地域の古墳を教材として宇都宮の歴史への理解を深め、道徳においては、宇都宮への郷土愛に触れ、宇都宮への愛情と誇りをもたせる。</p> <p>③給食での地産地消の食材や郷土食、宮っ子ランチやトマト献立を教材として取り入れ、郷土への理解を深めさせ、宇都宮の良さを捉えさせる。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒82.8%、教職員92.7%でともに数値指標を上回ったが、保護者は72.3%で下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに、各学年で生徒がまとめた宇都宮学の作品をHPに掲載し保護者への情報発信を図る。 ・「宮っ子ランチ」や宇都宮に関する図書の紹介、宇都宮にゆかりのある宇都宮百人一首大会について、各担当者がホームページで積極的な情報発信を図る。</p> <p style="text-align: center;">B</p>
2-(2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	<p>A8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は、デジタル機器や図書等を学習に活用している」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各80%以上</p>	<p>①積極的に1人1台端末を活用して生徒に情報収集やレポート作成、確認テスト等を行わせる。</p> <p>②各教科等の調べ学習等で図書を積極的に活用できるように図書館司書と連携する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員100%で、数値指標を上回ったが、生徒は75.7%で下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組内容の充実を図り継続していくとともに、図書やICT機器を活用する課題を家庭学習として提示するなどの工夫をする。</p> <p style="text-align: center;">B</p>

<p>2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進</p>	<p>A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私（生徒）は、「持続可能な社会」について、関心をもっている」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>①古紙回収やプラスチックごみ分別の徹底、移動教室時の消灯など、「持続可能な社会」の創り手になるために必要な行動ができるよう指導する。</p> <p>②各教科等の授業で、「持続可能な社会」に関する、話し合い活動を取り入れ関心をもたせる場面を計画的に設定する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒 73.8%、教職員 75.6%、ともに数値指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組内容を充実させ継続するとともに、生徒会委員会等で「持続可能な社会」の実現のために取り組める具体的な行動について考えさせ、掲示物や集会等で啓発していく。</p>
<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 100%</p>	<p>○①生徒一人一人の特性を授業中の状況・教育相談やアンケート及びWEBQU等で把握し、個に応じた適切な支援方法・発達の課題を考え、職員間で共有し、連携して対応する。</p> <p>②特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援（指導）計画に基づき、集団での授業の工夫を行うとともに、1人1台端末を有効に活用する。</p> <p>③全校体制によるステップアップルーム時間割をSCMが作成し、他者との関わり方を学ぶ活動や授業配信等の端末を活用した支援を、通級生徒の状況に応じて、SCMと担任や担当者が連携して行う。</p> <p>④保護者、スクールカウンセラー、メンタルサポーター、特別支援コーディネーターの他、必要な場合はスクールソーシャルワーカー、外部関係機関等と連絡を取り連携して支援する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員 100%で数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き本年度の取組を継続し、一人一人の状況に応じたきめ細かな支援に努めていく。</p>
<p>3- (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート（生）「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」、「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」、（地）「学校はいじめの未然防止・早期発見に向けた取組を発信したり、地域に見守りを依頼したりするなど、地域と連携している」 ⇒生徒・保護者・地域の肯定的回答各 80%以上、教職員の肯定的回答 100%</p>	<p>○①学級担任は、いじめは絶対に許さない毅然とした姿勢で学級経営を行う。</p> <p>②いじめゼロ集会（5月、10月）では生徒主体の活動により、いじめ等の未然防止を図る。また、いじめ撲滅の具体的な行動目標を設定させ、振り返りを行わせる。</p> <p>③いじめアンケートの年4回の実施により、未然防止と早期発見・早期対応をする。</p> <p>④SNSなどの使い方の注意点や、危険性について、生徒・保護者へ生徒指導日より等で啓発する。</p> <p>⑤スマホの危険性についての意識を高めるために、生徒対象の講演会や保護者に向けた動画配信を行い啓発する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒 96.2%、保護者 80.4%、地域住民 100%で、数値指標を上回った。また、教職員は 100%で数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き本年度の取組を継続し、思いやりや規範意識の醸成に努める。</p>

	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート(生)「先生方は、一人一人を大切に、生徒が共に認め励まし合うクラスをつくってくれている」、「教職員は、不登校を生まないよう一人一人の生徒を大切に、生徒がともに認め励まし合う学級経営(学級づくり)を行っている」 ⇒生徒・保護者の肯定的回答各85%以上、教職員の肯定的回答100%</p>	<p>○①学級担任は、温かい雰囲気学級の経営及び互いに認め合い助け合う集団をつくる。</p> <p>②欠席時の電話連絡や家庭訪問を積極的にしながら、情報を早期に共有し、担任のみならず複数の教員・チームで支援する。</p> <p>③スクールカウンセラーやメンタルサポーター、保護者等との連携体制を強化する(教育相談部会の充実)。</p> <p>④教育相談週間に加え、常時、チャンス相談を活用して、生徒の悩みや不安への早期対応に努める。</p> <p>○⑤保健室来室・授業見学生徒の把握と情報共有をし、耐性(あきらめない、くじけない、我慢する)を育む指導の充実に努める。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒95.1%、保護者89.1%で、ともに数値指標を上回った。また、教職員100%で数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取り組みを継続するとともに、学級担任による認め励まし合う望ましい学級集団の形成や帰属意識を高める学級経営の手立てについて具体的な取組内容を検討し、生徒・保護者との信頼関係の構築に努める。</p> <p style="text-align: center;">B</p>
<p>3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p> <p>3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート(生)「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている」、(教)(保)「教職員は、生徒の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、生徒が明るいきいきと学校生活を送れるようにしている」、(地)「学校行事等において、様々な立場の生徒が互いを尊重し合って活動を行っている」 ⇒全対象者の肯定的回答各90%以上</p>	<p>○①生徒一人一人が安心して活躍できたり、必要とされていると感じたりすることができる人間関係作りを図る。</p> <p>○②体育祭や文化祭では、各種実行委員を中心とした生徒の主体的な活動を多く取り入れ、達成感や充実感を味わわせる。</p> <p>○③学校生活全般において、教職員と生徒の温かい人間関係、信頼関係を構築する。</p> <p>④居心地の良いクラスとなるようにWEBQUを活用し、不登校の兆しの早期発見と不登校にならない適切な対応を早期に考え、全校体制で取り組む。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒96.2%、教職員97.6%、地域住民100%で、数値指標を上回ったが、保護者は87.8で下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに、生徒が達成感や充実感を味わえるよう認め励ましたり、保護者会や授業参観等で生徒の活動のよさを積極的に保護者に伝えてたりしていく。 ・生徒の相談事の解決を保護者と連携しながら進める。 ・学校生活全般において、教職員と生徒が相談しやすい信頼関係を築くことができるよう、生徒支援の充実を図る。</p> <p style="text-align: center;">A</p>
<p>4-(1) 教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート(生)「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」、「教職員は、分かりやすい授業や(教材を工夫するなど)一人一人へのきめ細かな指導をしている」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各90%以上、保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>○①宇都宮モデルを基に、「はっきり」「じっくり」「すっきり」を学習活動に適切に位置付け、「分かる・できる授業」改善を行う。</p> <p>②ミニ研究授業や教科部会において「宇都宮モデル」に取り組んだ授業改善を図り、授業力向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒95.1%、教職員100%、保護者80.3%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに、教科部会で宇都宮モデルや身に付けさせる資質・能力の評価について見直しや検討を行う。また、習熟度別学習の充実を目指す。</p> <p style="text-align: center;">B</p>

<p>4- (2) チーム力の 向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①校長を中心とした「チーム学校」の考えのもと、ミドルリーダーを中心に、お互い協力し合いながら業務に取り組む同僚性のある組織風土を作る。</p> <p>②一人一人が「風通しの良い職場」を意識することで、情報の共有化を図るとともに協力しやすい雰囲気を作る。</p> <p>③行事等の計画において、指導と評価の一体化を図る計画立案とすることで、見通しをもって業務に取り組めるようにする。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員 100%で数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、業務に取り組む同僚性のある組織風土を大切に、継続していく。 ・情報の共有化を図ることで、お互いに協力しやすい雰囲気を作る。</p> <p>B</p>
<p>4- (3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①リフレッシュデーを意識して計画的に業務を行うことにより、時間外在校等時間を削減する。</p> <p>②ミライム出退勤時刻による勤務時間を意識した働き方を行うことにより、時間外在校等時間を削減する。</p> <p>○③管理職は教職員の出退勤時刻を把握し、時間外勤務の多い教職員に対して、個別に面談し、勤務時間の適正化を指導・助言していく。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員 92.7%で数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続しながら、適時、生成AIを活用するなどして、業務の効率化を目指す。 ・一人一人が業務内容の見直しをすることで、勤務時間を意識した働き方を行い、時間外在校時間を削減する。</p> <p>B</p>
<p>5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、児童生徒や教職員の交流、小中一貫教育カリキュラムの作成・見直しなど、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」、(地)「学校は、小学生と中学生の交流の場を作ったり、掲示物で互いの学校の情報を伝え合ったりする「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」 ⇒全対象者の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>○①小中一貫教育・地域学校園の取組について全教職員の共通理解のもと、児童生徒や教職員の交流活動を実施する。</p> <p>○②小中一貫・地域学校園としての取組のねらいや活動内容等を、生徒のみならず、地域学校園だよりや学校だより・学校HPを通して、保護者・地域住民にも広く周知する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒 80.2%，教職員 95.1%，保護者 82.2%，地域住民 100%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き本年度の取組を継続し、小中一貫教育・地域学校園のビジョンの実現を目指す。</p> <p>B</p>
<p>5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p> <p>5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>○①地域ボランティアやPTAと協力をして、地域の教育力を生かした活動を推進していく。</p> <p>②キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用するとともに、宮っ子チャレンジウィークを積極的に、継続的に活用する。</p> <p>③雀宮地区の未来について生徒と地域住民が共に考える地域未来会議を開催し、活動の様子を発信する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員 97.6%，保護者 87.8%，地域住民 92.3%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続しながら、街の先生など地域ボランティアの活用も検討していく。</p> <p>B</p>

<p>6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各90%以上</p>	<p>①全教職員が校内の安全点検を行い、確実に報告し、迅速に修繕する。</p> <p>②「学校警備および防火防災計画」や「危機管理マニュアル」を基に、日頃の安全対策や避難訓練等を実施するとともに、実施した内容を随時見直す。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員97.6%、保護者94.3%、地域住民100%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、安全で快適な学校施設整備の取組を継続していく。</p>
<p>6-(2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、授業（授業準備を含む）や業務に、デジタルを積極的に活用している。」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>①学校ホームページやさくら連絡網を活用して保護者や地域に積極的に情報を発信する。</p> <p>②各学年や教科等でデジタル活用の事例を共有することにより、授業や業務にデジタル機器を積極的に活用する。</p> <p>③生徒会活動等の資料等は1人1台端末を積極的に活用した企画・運営を進める。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員97.6%で数値指標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続し、デジタル機器を活用した授業力向上を図る職員研修を推進していく。</p>
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私（生徒）は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒全対象者の肯定的回答各85%以上</p>	<p>①生徒のみならず教師も日常のあいさつや授業の開始と終了のあいさつを習慣化する。</p> <p>②あいさつ運動や地域学校園内小学校と連携した朝のあいさつ運動（6月、11月）の実施など、生徒主体の活動を実施する。</p> <p>③生徒主体であいさつを盛り上げる企画や呼びかけを行う。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒96.0%、教職員90.2%、保護者87.5%で、数値指標を上回ったが、地域住民は84.6%で下回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、時と場に応じたあいさつの必要性について生徒主体に考えさせることで、あいさつの習慣化を図る取組を継続する。</p>
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私（生徒）は、きまりやマナーを守って生活をしている」、(地)「生徒は、登下校での交通ルールなど、決まりやマナーを守って生活をしている」 ⇒全対象者の肯定的回答各85%以上</p>	<p>①生徒会や生活安全委員会の生徒を中心として、決まりについて話し合いをさせる。</p> <p>②規律ある学校生活を送ることができるように「生活に関するきまり」をクロムブックやHPでいつでも確認できるようにする。</p> <p>③きまりやルールを意識して生活させる期間を設け、自分の行動について振り返らせる。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒95.1%、教職員97.6%、保護者89.0%、地域住民91.7%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに、生徒会を中心として、校則や生活のきまりを見直し、随時修正を進めていく。</p>
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B3 生徒は、自分の良いところを理解している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私には、良いところや頑張っていることがある」 ⇒生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>①各教科等において生徒が自分の意見を表現できた場面を教師間でも共有し、複数人で称賛することで、自己理解につなげさせる。</p> <p>②学級担任や教科担任は、ワークシートやダイアリーに、生徒の良さを言葉で添える。</p> <p>③生徒同士が互いの良さを認め合うことのできる場を設定して自己肯定感を育む。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒88.5%で数値指標を上回った。</p> <p>A</p> <p>【次年度の方針】 ・A5「私は、自分の良さや考えを生かしたり周りや協力し合ったりして進んで生活をよりよくしようとしている」に関連させ、取組内容の検討・充実を図り、生徒自身の自己理解の促進に努める。</p>

	<p>B4 生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、毎日家庭学習に取り組んでいる」 ⇒生徒の肯定的回答90%以上</p>	<p>①学級担任は、家庭学習の必要性や意義を示し、生徒に習慣化させるとともに、学習の質を高めさせる。</p> <p>②生徒の家庭学習の提出状況を確認し、提出率を示したり、声かけを行ったりする。</p> <p>③授業の復習を中心にした学習を行うよう促し、学習内容を工夫させる。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒93.2%で数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、効果的にAIドリルを活用して家庭学習ができるよう支援する。 ・基礎・基本や知識・技能の習得だけでなく、学習したことを活用する課題を計画的に出題し、学力向上につなげる。</p>	B
	<p>B5 教職員は、生徒の良さや頑張りを認め、ほめている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート(生)「先生方は、生徒の良いところや頑張ったことをほめてくれる」、 (教)「教職員は、生徒の良さや頑張りを認め、ほめている」 ⇒生徒・教職員肯定的回答各85%以上</p>	<p>①学校生活全般において、一人一人の良さを認め、励まし、称賛して、生徒の自己肯定感を高めるようにする。</p> <p>②各授業や行事等で、目標の設定と活動の振り返りを適切に行うことにより、生徒が自分の良いところや頑張りを意識しながら活動することができるよう指導・助言する。</p> <p>③学校だよりや学年だより、HP等で、「認め励ます教育」に係る学校の取組を発信する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒94.7%、教職員100%で、ともに数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、学校生活で一人一人の良さを認め励まし、称賛することで、生徒の自己肯定感を育む・生徒理解を深めることができるよう、教職員間で情報交換を積極的に行う。 ・人権週間に人権に関する道徳の授業を実施し、人権に対する関心を高める。</p>	A
	<p>B6 生徒は、雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やり遂げた。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、雀中そーらんや合唱コンクールに精一杯取り組み、やりとげることができた」 ⇒生徒の肯定的回答95%</p>	<p>○①各学校行事等で目標を立てさせそれを達成できるように支援し、振り返りを行うことによって達成感を味わうことができるように指導する。</p> <p>②学級会や実行委員会などを活用し、生徒主体の取組を充実させ、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心を醸成する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒97.9%で数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続し、体育祭(そーらん)や文化祭(合唱コンクール)などで、生徒主体の取組を実践し、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や、目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心の醸成に努める。</p>	B
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B7 (学校園共通) 生徒は、食事の時のマナーをしっかりと守っている。(あいさつ、はしやお茶わんの持ち方、ひじをつかないなどの良い姿勢など)</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、食事のマナーをしっかりと守っている。(あいさつ、はしやお茶わんの持ち方、ひじをつかないなどの良い姿勢、など)」 ⇒生徒の肯定的回答90%</p>	<p>○①食事中の会話に配慮し、一緒に食べる人への気遣いをさせる。</p> <p>○②給食を作ってくれる人たちへの感謝の気持ちを育む。</p> <p>○③食育強化月間に、1人1台端末を活用して食事マナーについての啓発を行う。(6月、10月)</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、生徒97.7%で数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き取組を継続するとともに、食事マナービデオなどによる啓発を行う。 ・ランチルームでの給食の時にポイントを絞ったマナーについての確認を行う。</p>	B

【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○うつつのみや学校マネジメントシステム全体アンケート肯定的割合結果について

(1) 数値指標を達成した項目数

生徒：18/21 教職員：22/23 保護者：11/13 地域住民：8/9 全体：59/66 89.4%が達成した

(2) 前年度を上回った項目数

生徒：16/22 教職員：25/27 保護者：12/19 地域住民：5/10 全体：58/78 74.4%が上昇した

(3) 市の平均との比較

生徒：10/17 教職員：20/22 保護者：10/15 地域住民：4/9 全体：44/63 69.8%が上回っている

・数値指標を達成した項目が66項目中59項目で、達成率は89.4%であった。このことから、具体的な取組は概ね妥当であったと捉えているが、地域住民の回答で昨年度より数値が下がった項目も見られた。

以下、【学校運営】【学習・キャリア教育】【特活・道徳・総合・地域】【生徒指導・安全指導】【人権・教育相談・特別支援】ごとに、主な具体的な取組について成果と課題を示す。

【学校運営について】

成果：A15（チーム力の向上）、A16（働き方改革の推進）については、学校に関わる職員全員が、一丸となって様々な業務に取り組んだことで、業務の効率化等が進んだ。また、A17（学校運営・教育活動の充実）については、「小中一貫教育・地域学校園」の取組が充実するとともに、保護者や地域住民への周知も進んだ。

課題：A18（学校経営・学校づくりの推進）については、指標を達成したものの、昨年度に比べて地域住民は7.7P低下した。地域ボランティアの活用や企業などと連携した授業を行うことを検討していきたい。また、A16（働き方改革の推進）、A20（学校のデジタル化）については、必要に応じてデジタル機器を利用するなど、更なる業務の効率化や、デジタル機器の有効的な活用場面を検討していくことが課題である。

【学習・キャリア教育について】

成果：A1（確かな学力）、A3（豊かな心）については、生徒・教職員ともに指標を達成し、家庭学習の提出率が80%を超えるなど、家庭学習の習慣が定着してきたことや、各教科や行事ごとの振り返り活動が充実により、主体的に学習に取り組む態度や目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組む態度が涵養されている。

課題：A8（情報社会と科学技術の進展）については、生徒の肯定的回答が6.7P上昇したが、指標達成に至らなかった。情報教育主任が中心となって、教師のデジタル機器活用状況を把握した上で、教員のICT機器活用のスキルアップを図る必要がある。また、A9（持続可能な社会の実現）については、生徒・教職員ともに指標が未達成であることから、教科等横断的な授業のみならず、自分の行動が持続可能な社会の実現につながるという考えの啓発と行動を促していきたい。

【特活・道徳・総合・地域について】

成果：A3（豊かな心）、A5（将来への希望）、A13（多様な教育的ニーズ）、B6（本校の特色）については、学校行事・学級活動等を通じて、目標を立て実行し振り返りをしながら取り組ませたことで、粘り強く物事に取り組んだりお互いの良いところを認め合ったりする生徒の姿を見取ることができた。

課題：A7（郷土愛）については、教職員の肯定的回答が20.9P上昇し指標を達成した。保護者は2.9P上昇したが、達成には至らなかった。「宇都宮学」による探究学習の実践が課題と考える。次年度は、宇都宮の良さを知らせるために、生徒が作成した作品等を保護者会やHP等で紹介するなどの工夫を考えていきたい。

【生徒指導・安全指導について】

成果：A11（いじめ・不登校対策）については、「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」の教職員の回答が10.8P上昇し、いじめ対応の職員研修で共通理解が図れたことの成果である。また、保護者が5.7P上昇したことについても、地域学校園で足並みをそろえていじめゼロ集会を行い、いじめゼロ標語を各校で掲示したことや、各種だよりや学校ホームページで生徒・保護者に向けて積極的に情報を発信したことがあげられる。さらに、スマホ出前講座を保護者参加型にしたことなども成果となっている。

課題：B1「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」の地域住民の回答が15.4P下がっていることに関して、学校外で地域の方にあいさつをする意識の低下が考えられる。あいさつ運動や地域未来会議等を通して、地域住民とあいさつについて考える機会を充実させていきたい。

【人権・教育相談・特別支援について】

成果：A10（特別支援教育）、A11（いじめ・不登校対策）については、日常の会話・教育相談の他、WEBQUを活用した不登校の兆しの早期発見・チームでの対応・支援により、不登校を生まない学級経営、認め励まし合う集団づくりの成果につながっている。

課題：A13（多様な教育的ニーズ）について、保護者の「教職員は、生徒の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、生徒が明るくいいきと学校生活を送れるようにしている」が指標達成に至らなかった。次年度は、家庭との連携を一層図りながら生徒支援に努めていきたい。

7 学校関係者評価

- ・地域住民の数値が下がったのは、みなさんが良く活動を見るようになったからである。数値については、年度ごとの結果に一喜一憂せず、長期的な視点に立って考えることが大切である。
- ・地域住民の数値を上げるために、学校での取組の様子を、どのように地域や保護者に発信してくかが、課題である。
- ・A4（健康で安全な生活の実現）、B2（決まりやマナー）については、小中で連携した取組が必要であり、継続的な指導を行う必要がある。
- ・A11（いじめ・不登校対策）については、いじめが許されない行為であることの指導を徹底し、今後も100%を目指して指導を続けてほしい。
- ・A18（地域と連携・協働した学校づくり）については、働き方改革の中ではあるが、他地域と比べても交流が活発に行われている状況であり、数値が下がっているのは、コロナ禍以前の活動と比べていることが考えられる。活動を時代に合った形に変化させて、活動を継続させることが大切である。
- ・B1（あいさつ）については、生徒は良くあいさつをしていると思う。根気よく続けていくことが大切であり、大人が見本を示していくことが大切である。また、あいさつは、その人ができる対応をすることが大切であり、自分自身で考えて、行動できるように指導する必要がある。
- ・B6（本校の特色）については、雀中そーらんは大変素晴らしい活動である。今後も活動を継続してほしい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・本年度の成果として、各教科や行事ごとの振り返り活動が充実したことにより、生徒の主体的に学習に取り組む態度や目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組む態度が涵養されたことが挙げられる。次年度もこれらの取組を継続し、教職員の共通認識・共通理解により、具体的な取組内容の質の向上を図っていく。

また、次年度の拡充項目は、A4（健康で安全な生活の実現）A6（英語を使ったコミュニケーション）、A13（一人一人が大切にされ、明るくいいきとした学校）、B3（自分のよさの理解）、B5（生徒の良さや頑張りを認め、ほめる）とする。特にA13・B3・B5については、地域学校園ビジョン「一人一人が自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成（いきいきとした活動を通してつながる）」の実現と関連させ、学校運営スローガンを「いきいきと活動し健やかでたくましく成長（ステップアップ）する姿を支える教育活動の工夫」として取組を充実させ、生徒や教職員がいきいきと活動できるよう促していく。

○A4（健康で安全な生活）については、地域学校園重点目標「生涯を通して、自ら健康な体を維持していくための基礎づくりの推進」との関連から生徒の目の健康（視力低下）が課題となっており、「目の健康」指導を通じた望ましい生活習慣に関する指導の充実を図る。また、「雀中そーらん」は本校の特色ある教育活動であり、伝統的な活動を継続することで人・物・時とのつながりを意識させていく。ここでは、愛校心や連帯感を育みながら、地域とともに感動を味わうたくましい生徒の育成につなげる。

今後も学校評価書の取組内容を全体と共有し、組織的・計画的で創造的に取り組むことで、いきいきとした学校づくりを推進する。また、学校の実情や生徒の実態を把握し、必要と判断される場合は取組内容の加除修正を図ることで、生徒・教職員・保護者・地域住民から信頼される力のある学校づくりを目指していく。

